

「つなぐ棚田遺産」オフィシャルサポーター オンラインマッチングイベント

棚田地域における当社の協働メニューのご紹介



いであ株式会社のご紹介①

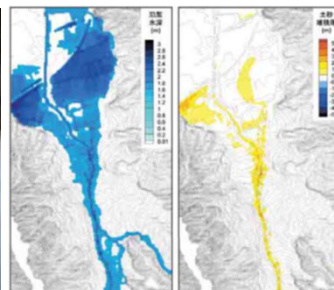
- 当社は、社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタントです。
 - ・ 本社：東京都世田谷区駒沢3-15-1
 - ・ 従業員数：1,065名（嘱託・顧問含む）
 - ・ 拠点：全国（北海道～沖縄）、海外
- 社会課題に応える3つの事業領域（環境、建設、情報）でサービスを提供しています。

環境

- ❑ 自然環境の保全・再生・創造（生物調査、希少種対策等）
- ❑ 環境調査（水域・航空、騒音、大気、土壤汚染等）
- ❑ 環境評価・環境計画（環境アセスメント、魅力的で持続可能な地域づくり）
- ❑ 化学分析・リスク評価（化学分析、生物試験等）
- ❑ 生命科学（食品検査・分析、バイオ関連分析等）

建設

- ❑ 国土保全（河川、ダム、砂防、海岸、農業農村整備）
- ❑ 交通・物流基盤（道路、橋梁、港湾）
- ❑ 都市・地域づくり（防災まちづくり、地域マネジメント）
- ❑ 災害への対応と復旧・復興（風水害、土砂災害、地震・津波災害）



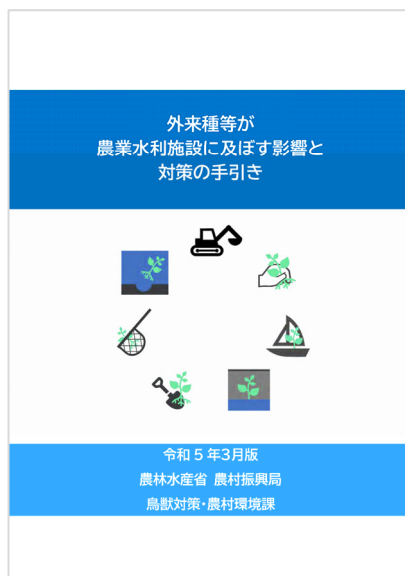
画像出典：当社ホームページ・パンフレットより

いであ株式会社のご紹介②

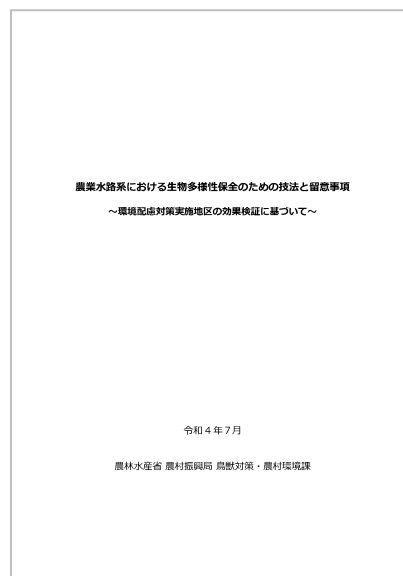
農林水産省のお仕事もしています

- 農業農村整備事業に係る環境配慮の手法検討（水路・ため池の環境配慮、水利施設における外来種対策など）
- 環境保全型農業の生物多様性保全効果に関する調査
- 農業農村整備事業への気候変動に係る影響調査・解析・評価など

農林水産省発行の手引き等の作成に携わっています



外来種等が農業水利施設に及ぼす
影響と対策の手引き
（農林水産省,R5年3月版）



農業水路系における生物多様性保全
のための技法と留意事項
（農林水産省,R4年7月）

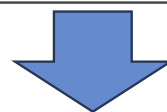


防災重点農業用ため池の廃止工事
における生態系配慮について
（農林水産省,R5年3月）

当社が「つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター」になった経緯

- R5年度の農林水産省農村振興局地域振興課の業務で、長野県上田市の「稲倉の棚田」に関わる方々の熱意に触れ、感銘を受ける。

美しく、生き物が豊かな棚田を次世代に残したい！
そのために、我々ができることは何だろう？



- オフィシャルサポーターに登録（令和6年7月）
 - まずはもっと棚田のことを知ることから！
- ⇒R7年度から徳島県上勝町にある「檜原の棚田」の棚田オーナーになり、田植え、草刈りを実施！



写真出典：いずれもいであ(株)が撮影

棚田サポーター活動を通して・・・

「檜原の棚田」で棚田サポーター活動をしてみて・・・

- **田植え、草刈り、稲刈りなどの活動が面白い！**
- **棚田を保全する地域の皆様が温かく、こうした交流は心に潤いを与えてくれる貴重な経験！！**

だと実感しました。

- 体験してもらえれば今後も棚田に関わりたいと思ってもらえるはず！！
- でも、なかなかそのきっかけがないのでは...？

⇒棚田に関わるきっかけづくりとして「棚田の多面的機能の見える化」や「棚田での生き物観察会」は我々もご協力できる！

-
- 地域社会振興機能
- 生物多様性保全機能
- 農村文化保存機能
- 体験・教育機能
- 食料生産機能
- 保健休養機能
- 土砂崩壊防止機能
- 河川流況安定機能
地下水涵養機能

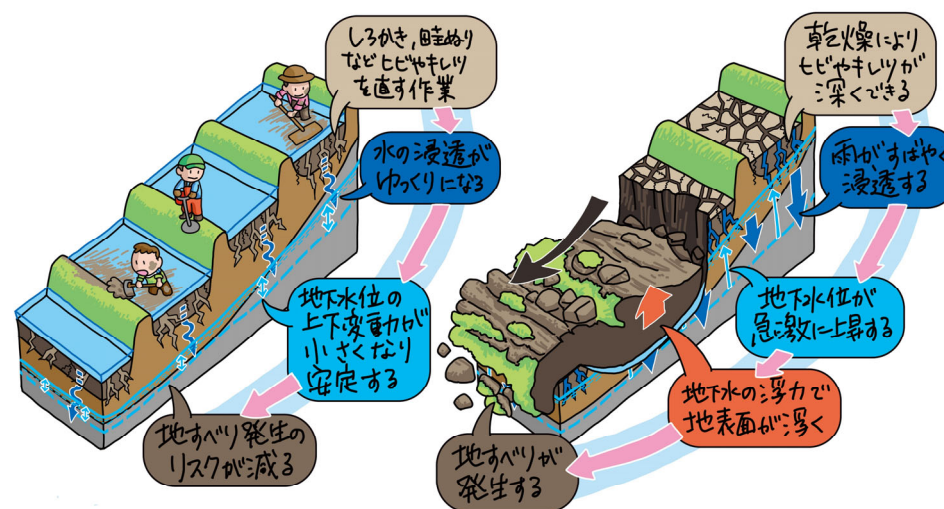
イラスト出典：農林水産省農村振興局地域振興課（R5年度業務で当社が作成協力）

- いであ(株)では、多面的機能を数字で表したり、イラストにしたりすることで、棚田の価値の「見える化」をお手伝いします。
- それにより、多くの方に棚田に興味をもっていただき、その方々の棚田米の購入や棚田オーナーなどの関わりを通じて、棚田の維持に少しでも貢献したいと考えています。

数字で整理したり

地下水涵養機能	△△の棚田を通じて涵養される地下水量は、年間●●●●●m ³ です。
洪水防止機能	△△の棚田は、年間●●●●●m ³ を貯めることで周辺下流域の洪水防止に寄与しています。
体験学習・教育機能	△△の棚田は、年間●●●組●●●●●人に体験・教育の機会を提供しています。

イラストで表現したり



イラスト出典：農林水産省農村振興局地域振興課（R5年度業務で当社が作成協力）

- 棚田では、畦畔率が高かったり、山林と接していることで、平場の農地とは少し異なる生物が生息していることもあります。
- 棚田が地域の生物多様性の保全に果たしている役割を、地域内外の多くの人に伝えてみませんか。
- 生き物のプロがたくさん所属しているいであ(株)が、ご要望のレベルに応じて、生き物調査の実施をお手伝いします。

一般市民・子ども向けの生きもの観察会

- 地域の方やお子さんが気軽に参加できる生き物観察会を、企画～当日運営まで、対応します。（講師派遣のみの対応も可）
- 昆虫、魚類、鳥類、植物など様々な分類群のプロが、観察・捕獲のコツや種類の見分け方をわかりやすく解説します。
- 安全管理もしっかり対応します。



専門的な生物調査

- 棚田の生物多様性を徹底的に調べることもできます。
- 当社の生物調査スキルは業界トップ！
（生物分類技能検定1級：67名／2級：29名）
- 外来生物調査＆駆除、環境DNA調査、UAVでの現地撮影などのオプションもご相談ください。
- 自然共生サイト※（R7から制度変更）への登録支援も対応します。



写真出典：いずれもいであ(株)が撮影

※「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」（保護地域内外問わず）を「自然共生サイト」として認定する制度を環境省がR5年度から開始。

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

当社に興味を持っていただいた方、ぜひお気軽にお声がけください。

本日ご紹介したメニュー以外にも、棚田に貢献できることを今後も考えて行きたいと思っています。

「こんなこともできる？」「一緒に考えてみたい！」といったご相談もお待ちしてます。

ご清聴ありがとうございました。

お問い合わせ先

いであ株式会社 地域共創推進部
(担当：吉田)

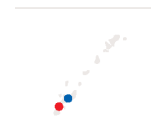
ysd22213@ideacon.co.jp

いであ株式会社 ホームページ

<https://www.ideacon.co.jp/>



主要拠点



●本社/支社/支店/研修所

本社

〒154-8585

東京都世田谷区駒沢3-15-1

TEL: 03-4544-7600 FAX: 03-4544-7700

社会基盤本部

〒158-0094

東京都世田谷区玉川3-14-5

TEL: 03-6805-7997 FAX: 03-6805-7667

大阪支社

〒559-8519

大阪府大阪市住之江区南港北1-24-22

TEL: 06-4703-2800 FAX: 06-4703-2860

沖縄支社

〒900-0003

沖縄県那覇市安謝2-6-19

TEL: 098-868-8884 FAX: 098-863-7672

札幌支店

〒060-0062

北海道札幌市中央区南二条西9-1-2

(サンケン札幌ビル)
TEL: 011-272-2882 FAX: 011-272-2846

東北支店

〒980-0011

宮城県仙台市青葉区上杉3-4-43

TEL: 022-263-6744 FAX: 022-265-0158

福島支店

〒960-8011

福島県福島市宮下町17-18

TEL: 024-531-2911 FAX: 024-531-2912

北陸支店

〒950-0087

新潟県新潟市中央区東大通2-5-1

(カープ新潟ビル:旧KDX新潟ビル)

TEL: 025-241-0283 FAX: 025-243-5650

名古屋支店

〒455-0032

愛知県名古屋市中区入船1-7-15

TEL: 052-654-2551 FAX: 052-654-0777

中国支店

〒730-0841

広島県広島市中区舟入町6-5

TEL: 082-207-0141 FAX: 082-207-0151

四国支店

〒780-0053

高知県高知市駅前町2-16

(太陽生命高知ビル)

TEL: 088-820-7701 FAX: 088-820-7702

九州支店

〒812-0055

福岡県福岡市東区東浜1-5-12

TEL: 092-641-7878 FAX: 092-651-3324

システム開発センター

〒370-0841

群馬県高崎市栄町16-11

(高崎イーストタワー)

TEL: 027-327-5431 FAX: 027-327-5783

富士研修所 (Fuji Innovation Center)

山梨県南都留郡山中湖村

●研究所

国土環境研究所

〒224-0025

神奈川県横浜市都筑区早瀬2-2-2

TEL: 045-593-7600 FAX: 045-593-7620

環境創造研究所

〒421-0212

静岡県焼津市利右衛門1334-5

TEL: 054-622-9551 FAX: 054-622-9550

食品・生命科学研究所

〒559-8519

大阪府大阪市住之江区南港北1-24-22

TEL: 06-4703-2800 FAX: 06-4703-2860

亜熱帯環境研究所

〒905-1631

沖縄県名護市字屋我252

TEL: 0980-52-8588 (沖縄北部営業所)

■海外 R&D Center

IDEA R&D Center

P.O. Box 4, Klong Luang,
Pathumthani 12120, Thailand

■海外事務所

ロンドン事務所

11 Repton House, Charlwood Street,
London, SW1V 2LD, United Kingdom

ポゴール事務所

J1. Medika IV Blok A1 12, Perumahan Bumi
Menteng Asri, Bogor 16111, Indonesia